



言葉の力



国籍	中国
職種	介護
実習実施者	社会福祉法人同慶会
監理団体	PNJ事業協同組合

潘 培 进

PAN PEIJIN

日本に来てもう8か月になります。今の施設で働いている中でも、大変なことがいっぱいありました。私達介護職の技能実習生にとって一番大変なのは言葉です。いつも日本語でご利用者様の状況確認をしなければなりません。介護現場で言葉はとても重要です。言葉には不思議な力を持っていることが発見しました。

ある利用者さんとの出会いのおかげで、私は介護のお仕事が今日まで続けられたと思います。ある日、「ねえ、ねえ、お兄ちゃんはどこの人？」と、利用者Aさんに声をかけられました。「中国ですよ」、「よく日本に来たね・・・」たくさん話をしてくれましたが残念ながら、私はこれしか聞き取れませんでした。その後、Aさんの前に通ると、よく会話をしてくれました。分かっているふりをして「はい。そうですね。そうですね」と繰り返して返事をしました。「分かりましたか」「分からないですよ、お兄ちゃん」と微笑みながら私に軽く叩きました。「そうですね、分からないことが多いですね」と答えました。話が分からない時でも、毎回Aさんの笑顔を見て、なぜか嬉しい気持ちです。もっとAさんと会話がしたい。日本語の勉強に更に力

を入れました。日本語がだんだん上手になりました。仕事にも自信を持つようになり、精一杯に働こうと思いました。

その後、ずっとAさんのことが気になり、仕事をする前に、Aさんとの挨拶は私の日課になりました。先日、Aさんの所に行ったら私の事は誰か、まったく覚えていません。先週まではまだちゃんと会話をしていたのに。ショックを受けました。食欲は変わらないけれど、初対面のような会話でした。認知症はこういうものだと実感しました。今までAさんとたくさんの会話をしました。Aさんのお蔭で、日本語が上手に話せるようになりました。でも私はまだAさんに感謝をしていません。早く言えばよかったです。私は後悔し始めました。その時、会う度に必ずAさんに「ありがとう」と言おうと心の底につぶやいていました。

やはり言葉って本当に不思議な力があります。私が「ありがとう」という感謝の言葉をかけると、Aさんは必ず笑顔が浮かびます。しばらく話すと急に私の事を思い出したりします。時には思い出さないこともあります。どんな時でもAさんの笑顔は変わらない。優しい素敵な笑顔は私の心の支えになっています。